

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名		トレーニングルーム管理運営事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合計 画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	教育委員会	課長名 高木 敏明
	施策	20	生涯学習の推進	所属課	生涯学習課	担当者名 中山 あや
	基本事業	70	生涯学習・スポーツ施設(環境)の整備	所属班	スポーツ振興班	(内線) 1505
				法令根拠		

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	12
	1	10	6	2	10844			コスト削減優先度評価結果	6

事業期間  単年度のみ  単年度繰返(開始年度 年度)  期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】  
・トレーニング機器保守点検業務委託、及び修理に関すること  
・トレーニング機器賃貸借に関すること

【業務の流れ】  
・トレーニング機器保守点検業務の契約、点検料の支払い  
・新規トレーニング機器導入に係る事務、賃貸借契約  
・トレーニング機器の賃貸借料の支払い

【主な予算費目】  
1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) ・トレーニング機器の保守点検、修理を行った。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度と同じ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・トレーニング機器	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) → ア 点検回数 (単位) 回/年 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・機器類を安全に使える。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) → ア 機器設置台数 (単位) 台 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) ・活動する場がある。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) → ア 機器の不具合で使えなかった台数 (単位) 台 イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) → ア 学習・スポーツに親しむ施設が整っていると思う市民の割合 % (単位) % イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限定 複数 年度 のみ 記載)  0          0  0	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計		千円	2,409	2,907	2,849	2,669	2,933	2,933		2,933
	うち指定経費		千円	1,303	1,956	1,956	1,956	1,956	1,956		1,956
	うち時間外、特殊勤務手当		千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	2	2	2		2
		延べ業務時間	時間	40	40	40	45	45	45		45
(B)人件費計		千円	159	159	159	179	179	179	179		
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,568	3,066	3,008	2,848	3,112	3,112	3,112		

活動指標	ア イ	回/年	4	4	4	4	4	4	4	目 標 合 計 値 画  22 年 度
対象指標	ア イ	台	21	21	21	21	21	21	21	
成果指標	ア イ	台	未把握	未把握	0	0	0	0	0	
上位成果指標	ア イ	%	72.9	74.5	74	75.1	74.5	75	75	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
平成7年度トレーニングルーム開設と同時に安全性を確保するために開始。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
設置しているトレーニング機器も設置当時のものは経年劣化のため随時入れ替えを行い充実したものになっている。  
年4回の保守点検それに伴う修理を行い耐用年数(5年)以上使用している。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
点検・修繕業者が熊本県内になく、修繕まで時間がかかり利用者から対応が遅いと言われることがある。

事務事業名	トレーニングルーム管理運営事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ <b>意図の機器類を安全に使えることにより、結果の活動する場があるに結びつく。</b>
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ <b>保守点検業務はすべて委託にしているが、保守点検も含めて指定管理者制に見直す余地はある。</b>
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ <b>対象、意図とも現状で適切である。</b>
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ <b>年次計画的に点検修理をしているためこれ以上の向上の余地はない。</b>
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ <b>安全性を維持することができなくなる。また、のべ年間2万人を超える利用者が利用できなくなる。</b>
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】⇒ (具体的な手段、事務事業) <b>指定管理者制度</b> <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ <b>トレーニングルームの管理運営を指定管理者制度に移行する。</b>  <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ <b>トレーニングルームの管理運営を指定管理者制度に移行する。また、次回からの機種の変更、委託業者の選考等を見直す。</b>
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ <b>指定管理者制度に移行する。</b>
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ <b>料金の値上げ等見直す余地はある。</b>

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	①～④について ・機種メーカー、保守点検業者選定など見直す余地がある。また、トレーニングルーム運営管理を指定管理者制度に移行することも考えていく。 ・料金の値上げ等見直す余地はある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																				
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>成果</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	成果	○			向上				維持				低下			
	削減	維持	増加																		
成果	○																				
向上																					
維持																					
低下																					
目的再設定・事業統廃合・連携・有効性改善・効率性改善→機種メーカー、保守点検業者の選定を見直す。指定管理者制度の導入を検討する。 公平性改善→現在料金が市内200円市外400円で市内在住者は安価であるので料金を値上げしても良いと思われるが、そのためには、トレーニングルームの環境の更なる充実が不可欠である。																					

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

現在、(株)セノー製品で統一していること。  
指定管理者制度の導入

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	11	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )